

砂防事業 事後評価結果

担当課 : 砂防防災課

担当課長名 酒井 彰彦

事業の概要

事業名	地すべり対策事業	事業区分	地すべり対策事業(補助)	事業主体	徳島県
事業箇所	徳島県美馬郡つぎ町貞光	箇所名	宮内地すべり防止区域		
事業概要					
横ボーリング工 L=1,250m ,水路工 L=188m					
事業の目的・必要性					
当区域においては、人家30戸及び国道や貞光川などに被害を及ぼす恐れがあり、平成23年の豪雨では土砂災害が発生するなど危険性が高く、早期の対策が必要であった。 このため、平成24年から地すべり対策事業に着手し、地下水を排除する抑制工を実施し、国土の保全及び民生の安定を図る。					
総事業費		72百万円			
事業概要図・写真					
 <p>徳島県 TOKUSHIMA</p> <p>施工箇所</p>		 <p>計画平面図</p> <p>水路工</p> <p>横ボーリング工</p> <p>貞光川</p> <p>国道438号</p>			
 <p>完成写真</p>					

事業評価結果

評価項目	評価内容
①費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	計画全体事業費110百万円→精算全体事業費72百万円 計画工期H24～H27→実施工期H24～H27 着手時B/C=8.5→完成時B/C=33.4
②事業の効果の発現状況	・保全対象の人家30戸や国道が保全されるとともに、国道崩壊による集落の孤立化や電柱などのライフライン切断による波及被害の防止が図られた。
③事業実施による環境の変化	・横ボーリング工の掘削に伴い発生する濁水を沈静槽を設けて抑制した。
④社会経済情勢の変化	・近年ゲリラ豪雨等により多発する土砂災害に対する防災意識が一層高まっている中、当事業の実施においては土砂災害による地域の安全を確保しながら、土地利用や保全対象に影響を与えず、防災面の向上に寄与している。
⑤課題と今後の事業への反映	・当区域は隣接する住宅の所有者との調整や機械の騒音や振動への配慮が必要であった。今後とも事業に影響する関係機関との調整を積極的に実施し、円滑な事業進捗を図りたい。

費用対便益	区分	基準年	B/C	総費用		総便益	
	着手時	平成24年	8.5	103	工事費、調査費	877	人家30戸、国道260m等
	完成時	平成28年	33.4	91	工事費、調査費	3,042	人家30戸、国道260m等

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※保全対象については、着手時は概略調査、完成時は詳細調査結果に基づいているため、現地状況により数値が異なる場合がある。